

渡邊賞金受領者

日本特殊鋼株式会社 技師 塚本 榮一君

君は昭和 6 年福井高等工業學校機械科を卒業し同 7 年日本特殊鋼株式会社に入社し爾來専ら鍛造工場に勤務し、主として航空機用鋼鍛造部品の製造に従事す、當時我が國航空工業は其の搖籃時代にして、之に用ふる鍛造品製造は最も困難なる時なりしが、君は資性熱意あり職務に熱心勤勉にして、然も創意工夫に秀で特に實行力に富めるを以て克く此の艱難を征服し幾多の改良進歩を完成したり。

殊に航空發動機用曲軸の鍛造に關しては其の鍛造方式及び型に工夫考案を凝し、其の改善によりて曲軸鍛造品の内部組織を良好ならしめ、従つて其の機械的性質の向上をなしたるのみならず最近に到り戦時下要望せらるゝ生産能率をも著しく増大し益々我が國航空發動機生産及び進歩に貢献せる所多く其の功績甚大なり。

仍て同君は日本特殊鋼株式会社寄贈資金取扱規則第五條に據り渡邊賞金を受くる資格充分なるものと認む。

渡邊賞金受領者

吳海軍工廠製鋼部鍛工長 本田登喜二君

君は明治 38 年吳海軍工廠製鋼部に入廠果進して大正 12 年海軍技手に任官し昭和 4 年依願免官となりしも直に工手として入廠部内限判任官を以て待遇せらる。前後通計入廠以來實に 30 有 7 年製鋼工場或は研究係に於て特殊鋼材の製造並に研究實驗に従事せり。殊に大正 8 年以降は専ら重要特種鋼材の熱處理作業を受持ち其の獻身的旺盛なる努力心は明晰緻密なる頭腦と相俟て所命の重要粗材製造に關し研究時代より上司を輔佐し一意専心不斷の努力を傾注し幾多の苦心を嘗めこれに改善を行ひて遂に今日の精妙を致し、今次戦争にも直接効果を擧げつゝあり、その功績は甚大なるものなり。

斯くの如く永年に亙り帝國海軍に貢献せるところ大なるのみならず特殊鋼の進歩發達に資する處又極めて多し。

仍て同君は日本特殊鋼株式会社寄贈資金取扱規則第五條に依り渡邊賞金を受くる資格充分なるものと認む。

V 日本鐵鋼協會春季大會晚餐會記事

日時 昭和 18 年 4 月 3 日 (土祭) 自午後 6 時 至午後 9 時

會場 東京市麹町區霞ヶ關 法曹會館

會費 金 5 圓

1. 出席者 (順位略)

招待者 (來賓)

- 日産自動車會社々長 淺原 源七君 代理 久芳 道雄君
宮製鋼所社長 高妻 俊秀君 日本製鋼所社長 杉 政人君
日本鐵鋼工業會社々長 高橋 省三君 三菱鐵業研究所 冶金第三課長 本多 顯曜君
日本石油鶴見製油所長 馬力 誠司君 電氣學會長 正木 良一君
日本金屬學會長 本多光太郎君 燃料協會々長 水谷光太郎君

(表彰者)

- 阿部七三郎君 有山 恭藏君 岩屋 枝彦君 入江 仁壯君
上野建二郎君 梶原 林次君 黒川慶次郎君 佐藤 昇君
笹部 誠君 關 米助君 田澤敏次郎君 塚本 榮一君
穂坂徳四郎君 本田登喜二君 宮下格之助君 八木貞之助君

(講演者)

- 阿部 三郎君 荒木 逸夫君 池ノ上 典君 市來崎 進君
内田 新八君 海澤光三郎君 上田 滿正君 大原三代喜君
垣内富士雄君 川口實之輔君 河合 正吉君 河合 正雄君

- 柏原 方勝君 木戸 行男君 北川 良也君 後藤 秀弘君
佐野 正夫君 下田 秀夫君 下川 義雄君 竹内 久祐君
田尻 仁郎君 谷村 照君 高島徳三郎君 武田 喜三君
寺町 忠夫君 長崎 勸君 中村 春三君 早矢仕 功君
萩原 巖君 樋上 倫久君 堀田 秀次君 牧野 恒光君
嶺 次男君 森脇 和男君 山縣 謙一君 矢島 忠和君
柳橋 哲夫君 吉城 肇君

(實行委員)

- 菊池 浩介君 齋藤 彌平君 志村清次郎君 田中 清治君
藤田 忠男君 横山 均次君

出席會員 (次第不順)

- 松下 長久君 三島 徳七君 河村 曉君 水谷 叔彦君
齋藤 大吉君 渡邊 三郎君 川上 義弘君 吉川 晴十君
網谷 俊平君 池田 正二君 石原 善雄君 志村 繁隆君
藤村 哲之君 村上武次郎君 齋藤 三三君 金谷 三松君
廣瀬 政次君 石原米太郎君 金子 恭輔君 的場 幸雄君
藤原 唯義君 高瀬 孝次君 朝倉 希一君 青木 元直君
足立 逸次君 今井 文平君 伊藤 實君 石塚幸次郎君
伊藤 寅視君 裏川 康一君 梅津 七藏君 江原 浩介君
小田 繁君 大垣 梅雄君 小關 誠君 太田 展弘君
小田村嘉穂君 小畑菊次郎君 壁谷 眞蔭君 嘉村 平八君
黒田久仁男君 後藤安太郎君 小高 義通君 小林 智教君
近藤 正光君 小林 忠敬君 小松次次郎君 酒井 四平君
鈴木 鐸明君 杉本 正邦君 世良 忠君 大同製鋼會社代表 安藤 政次君
田中 武次君 田中 福治君 大同製鋼會社代表 高口 清君
竹中 哲哉君 堤 彦一君 外村 徳三君 市谷 源衛君 東海電極製造會社代表 植田 勇二君
東亞鑄鋼會社代表 古田 堅志君 渡嘉敷眞男君 長岡 繁君 中村 幸雄君
日本鑄鋼會社 日本電解製鐵所代表 住 榮三君 西垣 一正君 長谷川幸平君
濱 弘君 原 茂樹君 福留 富治君 古村 滿澄君
松田 太郎君 松浦 春吉君 松本徳三郎君 宮原 毅君
宮製鋼所代表 久保 喜内君 見須 二郎君 諸住庄太郎君 山内 弘君
吉田 太郎君 渡邊 貢君

2. 卓上演説記録

松下 長久君 (日本鐵鋼協會々長) 一言御挨拶を申し上げます。第 28 回の通常總會と第 29 回の講演大會を開きました所、非常に盛會でございまして、會員の御申込數が 1200 名に達したやうな次第であります。先刻總會の時にも申述べたのでありますが、此の戦時下鐵鋼の増産並に此の鐵鋼を使つて戦力増強を致しますことの益々必要なることを痛感せられまして、鐵鋼界に御關係のある方が斯く多數御參集になつたことゝ存ずるのであります。斯様に多數の御出席を戴きましたことに付きましては、會として非常に光榮に存じて居ります。此の機會を利用しまして、今晚晚餐會を開いたのでありますが、時節柄洵に粗酒——と申しますと、お酒が出るやうであります、お酒は無いのであります。冷いサイダーと粗肴でありまして、此の點、金谷主事が非常に御盡力になつたのでありますけれども、斯う云ふ時節柄洵に残念であります、惡からず御諒承を願ひたいと思ひます。當鐵鋼協會に常に御關係のある各學會の會長さん方を御招待申上げました處御出席下された事を光榮に存じます又明後日から見學を御許し下さいました各會社の重役方、所長さん方を御招待申上げました所、時

局柄非常に御多忙であるにも拘らず御出席を戴きましたことは、吾々一同深く感謝する所であります。尙今大會に於きまして名譽會員御4人を御推薦申上げました所、今夕杉閣下の御出席を戴きましたことを、非常に感謝致して居ります。尙亦總會に於きまして今回受賞されました名譽ある會員各位並に講演者諸君を、御招待申上げました所、多數御出席戴きましたことを有難く存じます。

先程も申し述べましたやうに、鐵鋼増産は吾々が何としても致さなければならないのであります。平時に於ても我國が益々發展致します爲には、鐵鋼を増産せねばならぬことは申す迄もないのでありますけれども、今年程國民として鐵鋼に飢ゑて居ると申しますか、鐵鋼を造らなければならぬと云ふ年はないと存ずるのであります。是は吾々鐵鋼に關係します者の重大なる責務ではないかと存ずる次第であります。皆さんも御覽になつた事と存じますが、今年の初頭に岸商工大臣が「鐵鋼の増産は勝利の鍵なり」と云ふ宣傳紙を、關係會社に配布されましたが、實に其の通りだと存じます。同じやうな事を申上げますが、此上とも會員各位の御努力を御願ひする次第であります。

折角おいでを戴きましたが、初めに申上げましたやうに、斯う云ふ時節でありまして御満腹になる程御馳走も差上げられないので、甚だ不行届な點は幾重にも御許しを願ひます。之を以て私の御挨拶を終わります(拍手)

例に依りまして、時局柄鐵鋼増産に付て、又必ずしもさう云ふ問題でなくても宜しいのであります。御出席の方々から御話を伺ふことが出来ますれば甚だ仕合せと存じます。是は恒例になつて居りますので、私から御指名を申上げますから御許しを願ひます。先づ學會の元老でおいでになります本多光太郎先生に御願ひ致します。

本多光太郎君(本會名譽會員評議員・日本金屬學會々長) 只今御指名を蒙りまして、鐵鋼増産に關する御話をするやうにと云ふ御命令であります。私としてはもう皆さんの御承知以外に申上げる事も無いのであります。

併し何か話さねばならぬと云ふ譯でありますから、御禮旁々一言御挨拶を申上げたいと思ひます。日本鐵鋼協會は年々會員も澤上殖えて参りまして洵に結構だと思ひます。吾々の日本金屬學會はまだ生れてから漸く5年経ちました子供でありまして、經驗も無く、又基礎も薄弱であります。併し同じやうな方面に既に活躍して居られる日本鐵鋼協會の御指導を戴いて、進むことが出来るので、甚だ心強く思つて居る次第であります。鐵鋼協會と金屬學會とは大分同じやうな仕事を持つて居りますから、出来るだけ親密且互に協力することが、此の二つの學會の進歩發達に最も必要な事と考へます。それに就きまして他の學會では已に屢々やつて居られますやうに、昨年度には恰度都合の好い問題がありまして、共同講演會討論會を1回開くことが出来ました。非常に盛會であつて、斯界に貢獻する所が多かつたと信じて居る次第であります。尙今後またたびたび共通な良い問題を捉まへまして、共同講演會或は討論會を開きたいのであります。

もう一つ申上げて置きたいことは、金屬學會に於きましては日本金屬學會賞を毎年1個出すことになつて居ります。尙本年からは鐵鋼協會の授賞して居られる所に倣ひまして、少し若い人を獎勵すると云ふ意味で、約3人位授賞することになりましたが、し

かし主なものは學會賞であります。是は國際的になつて居りまして、世界に於ける金屬に關する學術或は技術に關し劃期的な仕事をした人に差上げることになつて居ります。今回は丁度5回目で此の鐵鋼協會の元老の1人であらせられる倭國一博士に差上げることになりまして、先般授賞式が濟んだ譯であります。吾々の兄弟分である鐵鋼協會の元老に、此の學會賞を差上げることになつたことは吾々の非常に光榮として居る次第であります。尙此の學會賞は他の西洋などにある學會賞と同じやうに、例へば日本で云へば學士院賞、或はイギリスの鐵鋼協會のベツセマー賞、或はノーベル賞、等と同じやうに授賞の目的は學者の學術的論文、或は技術的論文、或は仕事を目的として推薦することになつて居ります。間接の功績には餘り重きを置かないのであります。今回は倭博士の日本刀の學術的研究に對して授賞することになりました。勿論倭博士の製鐵製鋼に關する直接間接の御仕事は澤山ありますが、此の學會賞の目的物となるものは何と云つても、日本刀の研究であります。

倭博士の日本刀の研究は、日本刀を學術的に各方面から研究され、凡ゆる特徴を指摘され、又日本刀に最も大なる美術的價値を與へる色々の模様にて、學術的意義を明確にされました。こう云ふ研究が出来た爲に今後日本刀の美術的方面、即ち種々の模様を任意に作り得ると云ふことになつた譯であります。日本刀の實用的方面は切れ味であります。鋼が段々進歩しまして昔のものに比べて相當切れ味の優るものが出来るやうになつたのであります。唯美術的方面に於ては昔のやうな良いものが出来ないものであります。模様に關する色々の研究が土臺になつて、今後は滲炭、窒化を適用して任意の模様を造ることが出来るやうになりました。言ひ換へれば、本物の模様と同じやうなものを任意に作ることが出来ます。斯う云ふ點で倭博士の研究は劃期的であると云へる譯であります。

尙今後とも前述の主旨に基づいて皆さんから毎年1人だけ御推薦を御願ひして戴きたいと存じて居る次第であります。御馳走になつた上に斯様な御願ひをして恐縮して居る次第であります。立つた序でに一言申上げる次第であります。終りに今日の御丁寧な招待に預りましたことを洵に有難く厚く御禮を申上げます。(拍手)

會長 松下 長久君 次は前會長の1人である河村博士に御願ひ致します。

河村 駿君(本會名譽會員・前會長) 私は昨年4月に松下會長の御就任に際しまして、晚餐會の席上本會發展の前途を祝福したのであります。豫想通り、其の後松下會長の統率の下に、理事、委員等役員各位の甚大なる御盡力に依りまして、今日總會の席上で會長から御報告がありました通り、會員の數も漸次増加致しまして、昨年3月末の5300名に對し、今年3月末には6200餘名、1箇年に920何名の増加となり。又本會の資産と致しましては、昨年故今泉博士の記念資金10萬4000餘圓が加はりまして、昨年末の會の資産71萬餘より、今年3月末には81萬5000餘圓に増加致し、會は益々隆盛の一途を辿つて居ります。又會の事業と致しましては、無論會誌の發行、月例講演會、又春秋2季に催します大會の外、各種の研究部會も盛んに行はれました。今其の研究部會のことを數へ挙げますれば、川崎舎博士を委員長とする電氣製鋼部會、石川博士を委員長とする鑄物協會との

聯合の鋼鑄物研究會、機械學會と提携して吉川博士を委員長とする自動車用鋼材研究會、黒田博士を委員長とする日本耐火物協會と聯合の取鍋のノズル、ストッパ等の研究會、又海野博士を委員長とする熔鑄爐、平爐等の熱經濟の研究等、何れも長期に互りまして屢々開催されまして、本邦の製鐵事業發展上何れも多大の効果を齎して居るのでありますが、尙ほ其の他に只今本多先生から御話がありました通り、本年 3 月金屬學會と聯合して金屬と瓦斯關係の講演及び討論會が行はれたことも特筆すべき事であり

ます。以上のやうに本會の研究會は、從來それぞれ有益な成績を擧げて、斯界に貢獻すること多大なるものと存するのでありまして、洵に御同慶に堪へざる次第であります。元々研究會の制度と云ふものは、友邦ドイツ國では、ドイツの鐵鋼協會が主となりまして、凡そ 11 部門のアウスシュエスと言つて居りますが、分科委員會を設けまして、盛んに討議研究を行つて居るのであります。其の例に倣ひまして、私は大正 15 年に研究部會案と云ふものを起草致しまして、當時の役員會の御賛同を得まして、日本鐵鋼協會の一事業として設立されたものであります。其の第 1 回は大正 15 年の 11 月 26 日に八幡製鐵所に於て鉄鋼部會を開催されたのが初めであります。其の後逐年盛況を呈したのでありますが、其の後日本鋼管會社の甚大なる御好意に依りまして、此の研究會の運営に對して 30 萬圓と云ふ多額の資金の御援助を受けましたので、昭和 13 年 9 月に現在の規則に改正したのであります。其の後時局の要請に應じ益々其の機能を發揮しまして、官廳又は各學會、協會と提携致しまして、研究の益々盛大に行はれるやうになつたことは洵に御同慶の至りと存すると同時に、日本鋼管會社の御好意に對して深甚なる謝意を表する次第であります。此の席には他の關係の學會長の方も御見えになつて居られますが、工學に關する總ての學會は多少とも鐵鋼に關係の無い學會はないと思ひます。從來の研究會の他にそれぞれ鐵に關する研究の御希望がありますならば、どの學會とも提携して、將來益々研究會を盛んに致したいと存する次第であります。

尙ほ松下會長より、今日も御話がありました如く、豫て計畫中の鐵鋼要覽は、其の編纂を終了しまして、目下印刷中であります。時下印刷の不便の爲延引致して居りますが、來る 8 月頃には會員諸君には御配りが出来ることと豫想されて居ります。是亦時局御多端の際寄稿者諸君に對して洵に感謝に堪へざる次第であります。

尙ほドイツの鐵鋼協會でも本部の他にツワイグフェラインと云つて居りますが、地方支部を設けられて居ります。本會としては此の例に倣ひまして、昭和 14 年の 2 月に日本鐵鋼協會關西支部を大阪に設置したのでありますが、今後尙ほ、今日松下會長の御話の如く、例へば九州の八幡、滿洲の鞍山地方、北海道の室蘭地方等に順次支部を設置しまして、會員の増加、會の發展を企圖することは、最も時宜を得たるものと考ふる次第であります。

要するに今日の時局に對應しまして、本會設立以來の傳統的精神たる協力一致の努力に依りまして、老年組も青壯年組も一團となつてそれぞれ分に應じて努力を致しまして、會の發展を圖り、國家の要請に應へたいと思ふのであります。特に此の際元氣潑刺たる年若き方々の御奮起を要望して已まざる次第であります。斯くして明後年度昭和 20 年には本會は恰も創立滿 30 周年

を迎へるのでありまして、所謂壯年期に達するのでありますから、會員數の一段の増加に對しても、亦資産の充實に對しても、將又事業の擴充強化に對しても、劃期的の進歩を遂げるやう切に祈つて已まざる次第でありまして、特に此の際會員數の増加に對しましては、明後年の 30 周年までには本會の會員各自 1 名に付き 1 名以上の紹介推薦を願ひまして、會員の總數が 1 萬名以上に達するやう御盡力の程を切に切に御願ひ致したいと存じます。本會の創業以來何かの名義で本會と密接なる關係を有します者の 1 人として、此の機會に於て、從來本會の爲に多大の御支援を賜りました各方面に對して、深甚なる謝意を表しまして、御指名の責を塞ぐ者であります。(拍手)

會長 松下 長久君 今日總會で名譽會員に推薦申し上げました杉閣下は日本製鋼所の社長であられます。時局柄鐵の増産に就ては一段と御心配になつて居らつしやることと考へます。何かさう云ふ方面に就て御話を承ることが出来れば幸ひと思ひます。

杉 政人君 (本會名譽會員・評議員) いま松下會長より突然御指名がありました。先づ申し上げねばなりませぬ事は、考へて見ますと、私も海軍に入りましてより、今日に至るまで 40 幾年此長い間私と鐵と鋼とは終始因縁が絶えないのであります。尤も因縁と申しても、實を申せば私は鐵と鋼の御厄介にばかりなつて居りました。従つて皆さん方の御厄介になつて居つたのであります。或る時には野心を起して、皆さん方に御厄介になり序でに、皆さん方の御研究になつたものを戴いて、何か自分のものにして御役に立ちたいと云ふことを考へたこともありますけれども、御承知の通りの不敏で、少しもその真髓を掴むことが出来ず相變ず、唯御厄介に許りなつて居るだけであります。然るに先般松下會長から名譽會員にすると云ふお話があつて、何とも私御返事の申上げやうがなくて困つたのであります。文句なしに貰つて置けと云ふ事でありまして、仕方がなくて、只宜しく願ひますと云つたやうな状況であつたのであります。斯う云ふやうな事情でありますに拘らず、私も鐵鋼協會の會員であつて、此の晚餐會にも出る積りでちやんと會費も出して居つたのであります。御招待を受け此の席に据ゑられまして一層冷汗を流して居るやうなことであります。重ね重ねのことで、先づ以て御禮を申し上げます。

鐵鋼増産のことにつき何か云へとの御注文でありまして私も御禮許りではと思ふのであります。鐵鋼増産の必要はもう會長が口がすつぱくなるほど御話になり、只今河村さんから御話があり、又他の方面から御聞きになる所によつても皆さんは相當に能く御承知の所であると思ひますので私より別に取立てて申す必要もないと存じます。只此節何處へ行つてもよく食物の話を聞きますが日本の状況を靜かに考へると、我々は他の方面に於て非常に頭を使はねばならぬ事は澤山ある。鐵鋼増産の如きは特に其の最たるものであると始終人に話して居ると云ふ事を付け加へて置きます。

尙立ちました序でに、御話しますが、先般或る會食の時に雑談中平生さんの云ふのには『どうも日本の技術者は困る。外國のものに頼り過ぎる』斯んな話でした。そこで私は『それは貴方、無理だ、外國のものに良いものがあればそれを買つて來い、その方が近道だ、斯う云ふのが第 1 に貴方々の様な人ではなかつたか、そして偶々日本の技術者にやらして巧く行かなかつたら、會社で

あれば損をする、仕事は遅れるそしてその人は先づ頭から叱られる。甘く行けば褒められることもあるが多くは當然位に思はれる。斯う云ふ工合では幾ら元氣な技術者だと云つてもそれを踏み切つてやるのに躊躇せざるを得ない』と云つたところ『それは一方から云へばさうだ、自分は〇〇〇から〇〇〇の機械が来た時に、もう向ふのものを取らなくて自らで造つて見ろ、斯う云つた。さうした所が出来た。其の時に自分はいけなかつたら俺が責任を持つからと云つてやりました』との事でしたこの機械の甘く出来た事はよく承知して居ります。ので言下に『其處だ』と私は平生さんに云つたのだ、どうせ初めてやることなれば金も澤山かゝるのは當然だし、時も掛ります又失敗するときもある。それでもよい、俺も充分の責任を持つ、斯ういふ人が出て来なくて、技術者だけをせめてもそれは無理であります。

次は同じくある會食の席上で鐵鋼の話とか鑛石の話とかの雑談中日本鋼管の白石さんより、日本の技術者は日本的になつてゐなくて困ると云ふ話が出たので、私は白石さんが自ら日本の鐵鋼界に大貢献をせられつゝあるのみならず進で他の人々に資金を出し或は激勵を與へ斯界の改善に大努力を傾けて居らるゝことを能く承知して居りますけれども、白石さんの位置に居る人を相手にする。氣持で『そんな事を云つたつてそれは貴方々が悪いのぢやないか、日本に良い鑛石がない、それなればマライから取つて来てやるアメリカから安いよいクラブを持つて来い、石炭の良いのがなければ何處からでも取り寄せよ斯う云ふ風にやつて来たのだから日本的なものが出来ないのが當然ぢやないか』と申しました日本的々々と云ふことが此の節はやりますが、世界的に見た方が宜いものまでも、日本的にせねばいかぬと言つて居る人もある様でありますけれども此の問題の如きに對しては私の考へて居る日本的と云ふのは、やさしく云へば日本及びその近くで得られる資源を最も有効に使ふやうにすることだと思つて居りますが、つまり赤字が出ては困る、そして一般的に云へば、易しく巧く儲けねばいけないと云ふ此の形勢をずつと歩んで来て、今此の時代になつて俄に困つたと云つてもその大半は資本家と云ふか企業家と云ふか夫等の人々の負はねばならぬところである然し此は從來の經濟機構上誠に已を得ざるものもあつたので根本の責任は政府にありとも云へると私は思ふ、兎に角今迄は政府も悪いし資本家企業家も悪いし技術者も決して宜いとは言へぬ、詮じ詰めて國民全部が皆悪かつたんだ。一つみな御破算して此際新しくスタートするより外はないと云ふ結論に一致して御互によく話が分つたのであります。

所が時勢の要求で今はもう技術、科學と云つて、蜂の巣をつゝ突いたやうに尻べたを叩かれて居る、政府も一生懸命になつて居る。さう萬事が萬事右から左へと早急には片附きますまいが今位科學者技術者が國運を賭した此の場合に處する腹からの叫として眞剣に尊重されて居る時代はないと思ふ。本當に奮起せねばならぬ。成る程資材も十分でなく、金も少い、色々不便もあるけれども、事の進歩するのは、必ずしも金や資材がうんとある時でなくして却て貧乏して居る時だと私は思ふ。此の點に於て各學會、又鐵鋼の方で言へば此の鐵鋼協會などは特に責任が非常に重い。同時に又此の時ぐらゐ諸君が愉快に大手を振つてやれる時はない。私も此會の會員であります。會員でなからうとも當然なことであります、殊に古よりの會員でありますので、皆さんの驥尾

に附し皆さんの御指導を仰いで、幾らかでも國家の爲にお役に立てば非常に結構なことだと思つて居るのであります。御禮を申しますと共に、此の席を借りて雑談のやうなことを御話しまして甚だ恐縮の次第であります。(拍手)

會長 松下 長久君 明後日から見學を御許し下さる會社の社長さんの代表として、久芳さんに御願ひ致します。

久芳 道雄君(日産自動車株式會社常務取締役) 日産自動車の久芳でございます。御許しを戴きましてちよつと御挨拶を申し上げます。此の度鐵鋼協會の春季講演會を東京で御開きになりました。さつきから伺ひますと、1200人ばかりの會員諸君が御寄りになりまして各々蘊蓄をお傾けになりました色々の研究を御発表になり。又調査事項を御公表になつて、非常に盛會であるといふことを承りました。洵に御目出度い事と存じます。其の後に此の東京近傍の工場を御見學になりますので、私共の工場も其の選に入りましたことは、洵に欣幸に存する次第でございます。皆様が私共の工場を御覽下さいまして、何か御參考にでもなるやうな事がございましたら、私共の非常に欣幸とする所でありますし、又其の時に何か御氣付きの事を御指導下さいましたらば、幸甚之に過ぎるものはないのでございます。どうか一つ宜しく御願ひ致します。

大東亞戦争も非常に深刻な段階に入つて参りました。先程から御話がありますやうに、吾々生産に従事して居る者は其の職域の何たるを問はず其立場々々に於いてみな生産擴充をやつて、御國の爲に働かなくてはならないのでありまして、此の鐵鋼方面に於きましても、皆様方が色々御工夫御努力をなさいまして、生産が非常に擧りつゝあるといふことを聞きまして、私共としては感謝感激に堪へない次第でございます。

去る 81 議會に於きまして井上技術院總裁は、議政壇上から、吾國に於きましては新しい製鐵法を見付けたといふことを御発表になつたのでございます。私は恰度不幸にして其の議會の當時病氣で臥て居りましたので、ちよつと傍の者が新聞の見出し丈を讀んでくれたので知つただけであります。兎に角さう云ふ新しい製鐵法が見付かつたと云ふことは非常に心強いことでありまして、之に依つて又日本は何程かの増産をやり得るのであらうと思ひまして、非常に喜んで居る次第であります。

然るに其の内容に對しまして、私は非常に知りたいと思つて居つたのであります。今日まで多忙に取紛れまして、其の内容が能く分らないのであります。多少自分で想像はして見て居りますけれども、果して此の新しい製鐵法がどう云ふものであるかと云ふことを明確に知る事が出来ないであります。それで實は本日も本協會の會員の方々にもちよつと尋ねて見たのでありますけれども、明確にまだ御教示を受ける事が出来ないでございます。斯う云ふ重要な問題に對しましては本會の如き講演會或は少くとも斯う云ふ席上に於てでも皆様専門家から私共にさう云ふ事の御話をして戴ければ非常に有難いと存するのであります。勿論 2 年、3 年或は數年先で實を結ぶべき研究調査と云ふやうなことも必要でありますけれども、今日も決戦、明日も決戦、斯う云ふ決戦態勢に於きましては、殊更に又さう云つたやうな増産に直接關係あるやうな問題には私共としては非常に關心を持つて居るのであります。どうか誰方でも宜しうございますから、さう云ふことを本席或は誌上に於て委しく御教示に預ることが出来るならば

非常に幸甚と存ずる次第であります。今晚は私ども見學工場の代表者を御招き下さいまして、厚く御款待を戴きまして有難く存じます。簡単でありますが一寸御禮を申し上げます。

會長 松下 長久君 大分時間も経ちましたが、關西支部の川上義弘博士に關西方面の鐵鋼關係に付て御話を伺ひたいと思ひます。

川上 義弘君 (日本鐵鋼協會關西支部長・評議員) 只今御指名に預つたのでございますが、今まで關西に就ての御話は齋藤先生からいつも趣味豊かな御話がございますので、今夕も先生が御話下さることゝ存じて居りました。圖らずも御指名に預りましたが、別段準備もございませぬ。各工場の増産振を御話致し度いのですが一寸差支へがありますし又本多先生始め皆様から非常に結構な御話ございましたので、時間もございませぬし、極く簡単に關西支部の仕事なり、又所感なりを述べさして戴きたいと思ひます。先づ關西支部の仕事でございますが、是は先程刷り物でも御座りなつたかと思ひます。又會長さんから詳しい御話ございましたので今更こゝで繰り返すことは止めに致します。唯一言申述べたいと存じますことは、關西支部の仕事はいつも齋藤先生に御相談を致して居ります。又御多忙の折にも拘らず、關西支部の幹部の御方が非常に熱心に御助け下さいますので、若しも關西支部の仕事が少しでも發展をしたと云ふことがありますれば、是は全く齋藤先生や幹部の御方の御盡力でございまして、茲に此の御席を拜借致しまして厚く御禮を申述べます。又度々工場の見學を許されまして、又講演者を出して戴きます各會社にも厚く御禮を述べさして戴きます。それで本年度に於ける事業の計畫は、今夕色々御話を伺ひました事等を參酌致しまして、歸りまして齋藤先生始め皆様と御相談をしまして時局に即應するやうな計畫を樹て、着々實行致したいと思ひます。

尙ほ其の中で本部の御方に御願ひ致したいのは、只今久芳さんからも御話がありました通り、東京であつてさへ講演を希望して居られますのに、神戸の様に東京を隔たつて居る所では、地域的に申しまして、講演者の数が少ないのでございます。若しはこちらで良い講演の材料がありましたならば、本部の御盡力によりまして阪神の方へ御差遣を願ひます。本部の方で講演した場合、雑誌に出るから宜いではないかといふやうな御考へもあるかも知れませぬが、只今の杉閣下のやうな眞剣な御話、或は技術の細かい點

に付きましては、やはり雑誌を見ただけでは隔靴搔痒の感がございます。尙ほ關西方面に於きまして是は適當だと思ふやうな講演がございましたならば、又こちらの方で講演をさして戴くやうに御取計ひを願ひたいと思ひます。

次に鐵鋼増産の問題でございます。唯一つ關西支部の事業に就て考へるのでございますが、此の年に2回の大會が催されます。此の會に於きまして皆様の有益な講演を拜聴することや、此の懇親會の集りて色々技術的の連絡を執りますことは非常に楽しみであり且つ有効でありますし、又是が鐵鋼増産に資するものでございます。小さいながら關西にさう云ふ支部がございましたれば、會合の時機も多くなります。

學術的に色々拜聴することも出来ます。又工場に於きまして多量生産に就きましての色々設備等を拜見することが出来まして、是が鐵鋼増産の一つの助けになるのではないかと思ひます。此の意味に於きまして關西支部以外にも、八幡なり或は名古屋なり各所に支部を設けられまして、只今申上げました理想を實現しますことは、大變結構なことではないかと存じます。聊か所感を述べまして自分の責を塞ぐ次第でございます。(拍手)

會長 松下 長久君 大分遅くなりましたので、最後に、今日名譽ある授賞をされました黒川慶次郎さんに、代表として御感想を御話し願ひたいと思ひます。

黒川慶次郎君 (日本製鋼所室蘭製作所改良部) 甚だ僭越でございますけれども、本日の授賞者と致しまして一言御禮を申し上げたいと思ひます。今回私共は本協會の名譽ある授賞を戴きまして、身に餘る光榮に存じて居ります。今晚は又御招きに預りまして重ねて御禮を申し上げたいと存じます。此の本協會の輝かしき傳統を聊かでも疵付けるやうな事があつては相濟まぬと、ひそかに慚愧に堪へない點もありますが、微力ながら今後とも技術報國の爲に資して行きたいと存じますから、どうぞ此の上とも御指導と御鞭撻を賜らんことを御願ひ致したい次第であります。ちよつと御禮を申し上げます。(拍手)

會長 松下 長久君 まだ色々御話を承りたい方も澤山居らつしやるのでありますが、會館の時刻も大分過ぎたやうでありますから、甚だ残り惜しく存じますけれども、今日の晚餐會は之を以て閉會致します。

鐵と鋼在庫部數、昭和18年6月10日現在

| 年 | 號 | 部數 | 年 | 號 | 部數 | 年 | 號 | 部數 | 年 | 號 | 部數 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 10 | 2 | 3 | | 增刊 | 6 | | 9 | 53 | | 12 | 2 |
| | 5 | 6 | 20 | 3 | 9 | | 10 | 44 | 27 | 1 | 3 |
| | 8 | 3 | | 10 | 7 | | 11 | 31 | | 3 | 25 |
| | 10 | 6 | | 11 | 9 | | 12 | 53 | | 4 | 10 |
| | 11 | 3 | | 12 | 4 | 24 | 1 | 1 | | 5 | 75 |
| | 12 | 6 | 21 | 8 | 13 | | 2 | 42 | | 6 | 130 |
| 11 | 3 | 14 | | 9 | 30 | | 3 | 40 | | 7 | 88 |
| | 6 | 5 | | 10 | 16 | | 4 | 44 | | 8 | 120 |
| | 7 | 1 | | 11 | 19 | | 5 | 53 | | 9 | 58 |
| | 12 | 1 | | 12 | 1 | | 6 | 28 | | 10 | 13 |
| 12 | 2 | 2 | 22 | 2 | 1 | | 7 | 40 | | 12 | 41 |
| | 4 | 6 | | 3 | 31 | | 9 | 8 | 28 | 1 | 2 |
| | 6 | 4 | | 5 | 4 | | 11 | 64 | | 2 | 2 |
| | 9 | 5 | | 6 | 35 | 25 | 6 | 5 | | 4 | 8 |
| | 11 | 11 | | 7 | 8 | | 9 | 2 | | 5 | 77 |
| 13 | 8 | 4 | 22 | 8 | 7 | | 11 | 31 | | 6 | 93 |
| 14 | 2 | 1 | | 9 | 3 | | 12 | 48 | | 7 | 13 |
| | 8 | 1 | | 10 | 2 | 26 | 1 | 5 | | 8 | 93 |
| | 9 | 2 | | 11 | 29 | | 3 | 34 | | 10 | 5 |
| 16 | 5 | 5 | 23 | 4 | 45 | | 6 | 11 | | 11 | 16 |
| 17 | 7 | 5 | | 5 | 1 | | 7 | 3 | | 12 | 8 |
| 19 | 8 | 2 | | 6 | 2 | | 8 | 90 | 29 | 3 | 19 |
| | 11 | 1 | | 7 | 61 | | 9 | 74 | | | |
| | 12 | 3 | | 8 | 37 | | 10 | 46 | | | |